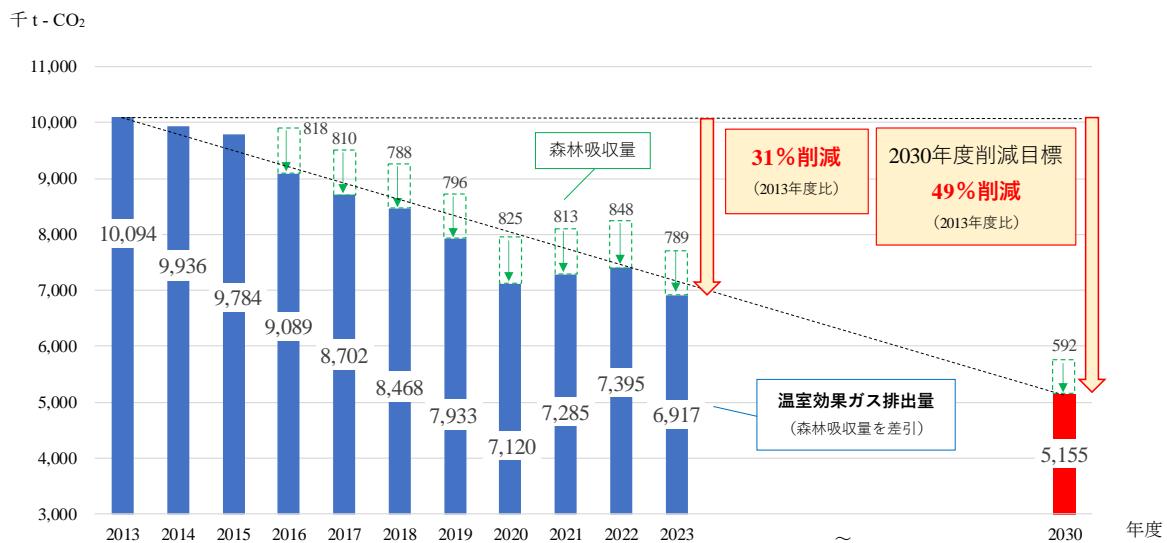


福井県における温室効果ガス排出量の算定結果 (2023年度速報値¹)

1 温室効果ガス排出量の変化

- 2023年度の温室効果ガス排出量(速報値)は6,917千t-CO₂、2013年度比31.5%の減少、2022年度比で6.5%減少と、基準年度である2013年度以降過去最低であった。製造業における生産活動が減少したこと、電力のCO₂排出係数※が改善したこと等が温室効果ガス排出量の減少に影響したと考えられる。
- なお、国全体の2023年度排出量は1,017百万t-CO₂であり、2013年度比27.1%の減少、2022年度比4.2%の減少であった。

※電力のCO₂排出係数：電気の供給1kWhあたりどれだけの二酸化炭素を排出しているかを示す数値



【図1】福井県の温室効果ガス排出量



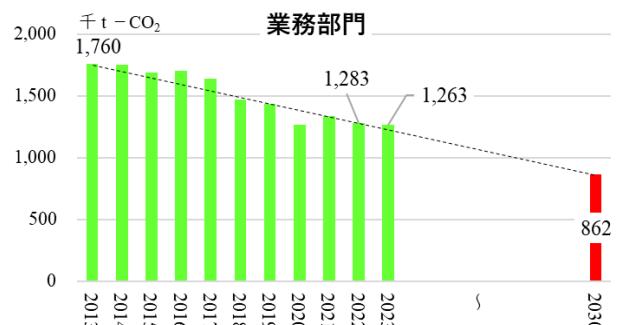
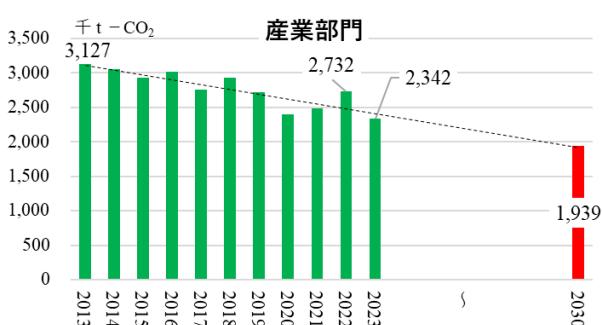
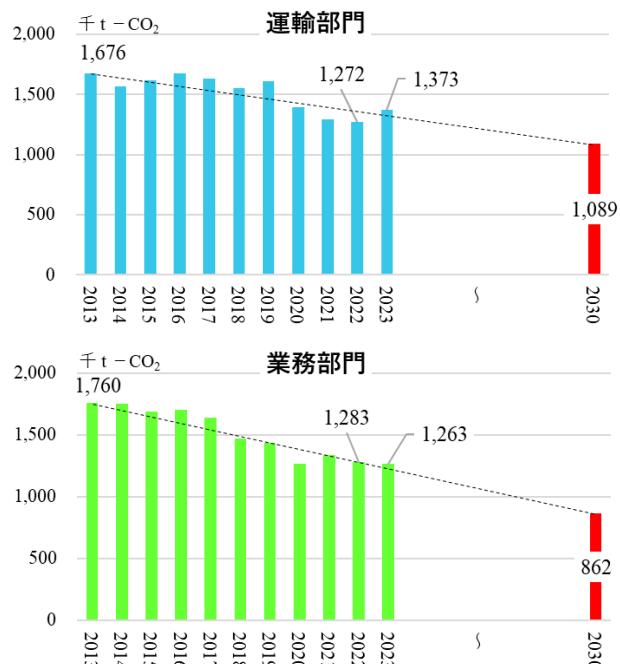
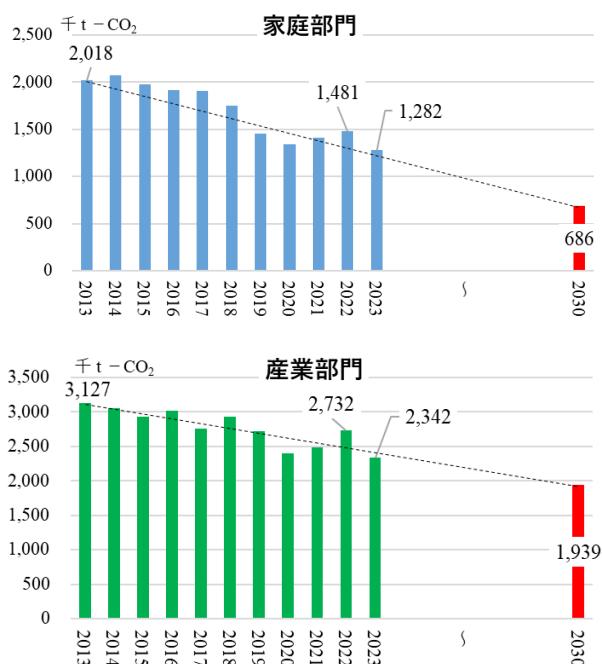
【図2】国全体の温室効果ガスの排出量（環境省公表資料より福井県作成）

¹ 2023年度速報値は、今後、各種統計データの修正等により再計算される場合があります。

2 部門別の排出状況の変遷

(単位 : 千 t - CO₂)

部門	2013 年度 排出量	2022 年度		2023 年度 (速報値)			2030 年度(目標)		
		排出量	削減率	排出量	削減率		排出量	削減率	
			2013 年度比		2013 年度比	前年 度比		2013 年度比	
二酸化炭素	家庭	2,018	1,481	△26.6%	1,282	△36.5%	△13.4%	686	△66%
	運輸	1,676	1,272	△24.1%	1,373	△18.1%	+7.9%	1,089	△35%
	産業	3,127	2,732	△12.6%	2,342	△25.1%	△14.3%	1,939	△38%
	業務	1,760	1,283	△27.1%	1,263	△28.2%	△1.5%	862	△51%
	その他	941	833	△11.5%	781	△17.0%	△6.3%	691	△27%
	小計	9,522	7,601	△20.2%	7,041	△26.1%	△7.4%	5,267	△45%
その他ガス		572	642	+12.2%	665	+16.3%	+3.5%	480	△16%
森林吸収源		-	△848	-	△789	-	+7.0%	△592	-
合計		10,094	7,395	△26.7%	6,917	△31.5%	△6.5%	5,155	△49%



【図 3】福井県の部門別温室効果ガスの排出量

2030 年度目標に向けての進捗

- 福井県全体の温室効果ガス排出量は、2013 年度から減少傾向であり、2030 年度の目標に向けて概ね順調に推移している。しかし、運輸部門については対前年度比で増加し、家庭・業務部門についても削減が不十分であることから、エネルギー源の転換と省エネを進め、さらに排出量を減少させていく必要がある。

部門ごとの状況

(1) 家庭部門

- ・2023 年度の CO₂ 排出量は、2022 年度比で 13.4% 減少し、2013 年度比で 36.5% 減少しした。
- ・家庭部門の CO₂ 排出量は、電気の使用に伴うものが約 8 割を占めており、2022 年度と比較して電力消費量が減少したこと、さらに電力の CO₂ 排出係数が改善したことが、排出量減少の主な要因である。電力消費量の減少は、冬季の平均気温が高かったこと等に起因するものと思われる。

(2) 運輸部門（自動車等）

- ・2023 年度の CO₂ 排出量は、2022 年度比で 7.9% 増少し、2013 年度比で 18.1% 減少しした。
- ・運輸部門の CO₂ 排出量は、自動車の使用に伴うものが 9 割以上を占めており、2022 年度と比較して自動車の燃料消費量が増加していることが、排出量増加の主な要因である。燃料消費量の増加は、コロナ禍からの社会経済活動の回復が影響しているものと思われる。

(3) 産業部門（工場等）

- ・2023 年度の CO₂ 排出量は、2022 年度比で 14.3% 減少し、2013 年度比で 25.1% 減少しした。
- ・産業部門の CO₂ 排出量は、製造業からの排出が約 9 割を占めている。製造業の CO₂ 排出量は電気の使用に伴うものが約 5 割を占めており、2022 年度と比較して電力消費量が減少したこと、さらに電力の CO₂ 排出係数が改善したことが、排出量減少の主な要因である。製造業における電力消費量の減少は、生産活動の減少に起因するものと思われる。

(4) 業務部門（商業・サービス・事業所等）

- ・2023 年度の CO₂ 排出量は、2022 年度比で 1.5% 減少し、2013 年度比で 28.2% 減少しした。
- ・業務部門の CO₂ 排出量は、電気の使用に伴うものが約 6 割を占めており、2022 年度と比較して電力の CO₂ 排出係数が改善したこと、さらに重油などの燃料の消費量が減少したことが排出量減少の主な要因である。燃料の消費量の減少は、冬季の平均気温が高かったこと等に起因するものと思われる。